

公共交通不便地域対策ニュース

No.9

世田谷区 道路・交通計画部 交通政策課

世田谷区では、鉄道駅からの距離が「500m」、バス停からの距離が「200m」以上のエリアを「公共交通不便地域」と定義しています。

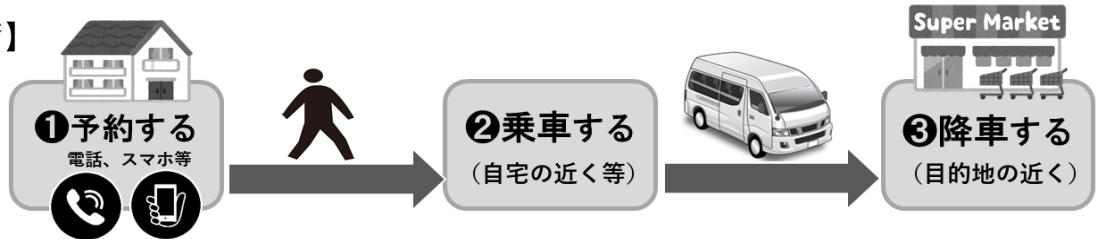
この度、第9回目の勉強会を開催しましたので、その内容をご報告いたします。

日時：令和4年5月13日（金）  
10時30分～12時00分  
場所：砧まちづくりセンター内活動フロア  
参加者：15名

【第1部】デマンド型交通をご紹介しました

デマンド型交通とは、運行ルートが固定されておらず、利用者の予約状況に応じて乗降地点間を最適なルートで運行する乗合交通です。

【利用イメージ】



【定時定路線型との比較】

運行形態	定時定路線型	デマンド型
概略	一般的な路線バスと同様に、利用者の有無にかかわらず、あらかじめ定められたルートを定められた時刻に運行するもの。利用者は時刻表に定められた時刻にバス停で乗車する。	利用者の予約に応じて、AI等が最適ルート等を算出・設定し、運行するもの。利用者はアプリや電話等で、乗車希望時間や乗降地点を指定し、乗車予約する。
運行範囲	あらかじめ定められた運行ルート	運行区域内における乗降地点間
運行イメージ	<p>決まった時刻に決まったルートを運行</p>	<p>運行時刻・ルートは予約状況で変動</p>
主なメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事前予約が不要</li> <li>②ルート、ダイヤが固定のため分かりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①乗りこぼし（定員オーバーで乗れない状況）の心配がない</li> <li>②乗降地点が設定できれば目的地に直接いける</li> </ul>
主な留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ワゴン車両（乗車定員が少ない）のため、乗りきれない可能性がある</li> <li>②運行ルートが固定されるため、停留所から目的地まで移動時間がかかる可能性がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①利用に際して事前予約が必要（アプリによる予約、コールセンターによる予約）</li> <li>②運行区域の設定や他者の予約状況が、乗車予約時間や到着時刻に影響を及ぼす可能性がある</li> </ul>

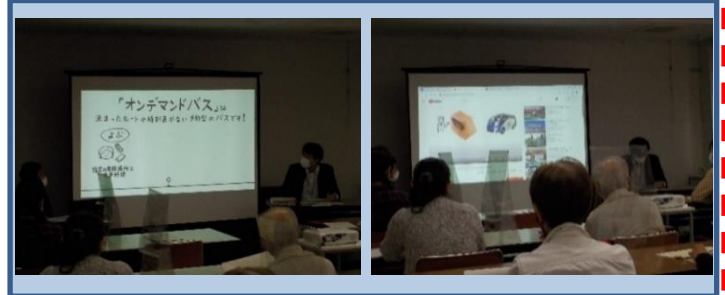
需要が集中する時間帯における定員超過のリスクや、コロナ禍における高齢者の健康不安の高まりなどの課題に対する可能性を確認するため、今年度はデマンド型の需要予測アンケートを実施することをご報告しました。アンケート結果を踏まえ、定時定路線型と比較・検討し、運行形態を決定していきます。

近年、A I（人工知能）を活用した予約・配車システムの技術向上などにより、デマンド型交通の可能性が広がっています。これまで定時定路線型が一般的であった都市部においても、デマンド型交通の実証実験が行われています。

ご参加いただいた方には、デマンド型交通の利用方法などについて、他自治体等の動画をご覧いただきました。

#### 動画視聴の様子

東久留米市などではデマンド型交通の実証運行が実施されています。また、区内（喜多見・宇奈根地区）の路線バスにおいてもバス事業者によるデマンド型交通を活用した運行形態変更に向け、取り組みが進んでいます。（写真は東久留米市）



### ○第1部での主なご質問と回答

Q：デマンド型は運行ルートに制約はないのか。ルートが固定されている定時定路線型の方が安全を確保できると思うが、デマンド型の安全対策について聞きたい。

A：予約状況に応じた運行ルートとなるが、安全対策が不要になるわけではない。安全対策に関しては引き続き交通管理者と協議していく。

Q：デマンド型で需要に応じた運行を行うには、車両が何台も必要になるのではないかと。

A：必要な車両の台数は、需要と運行区域の広さによって変わってくる。今回は運行区域がそこまで広くない。過去のアンケート結果を踏まえると概ね1台で回せる想定であるが、デマンド型交通のアンケート調査を実施し、需要の把握と適切な運行区域等を精査していく。

Q：実証運行がコロナ禍の影響で出来なかったのは一時的な要因であるため、デマンド型を検討する理由になりえないのではないかと。

A：定時定路線型の実証運行が出来なかったことが、デマンド型の検討理由ではない。定時定路線型における乗りこぼし（定員超過）等の課題や、乗降地点を効果的に配置することで高齢者の外出促進などに繋がる可能性があることから、検討することとなった。

Q：定時定路線型に比べ、予約の手間などもあり億劫だという意見を聞いているがどうか。

A：仮にアンケート結果などを踏まえ、運行形態をデマンド型に進めるとなった場合は、電話での予約にも対応するなど、高齢者でも利用しやすい丁寧な対応が必要だと考えている。

### ○ご意見

■定時定路線型もデマンド型も良い面・悪い面があるようなので、それぞれしっかりと検討してもらいたい。

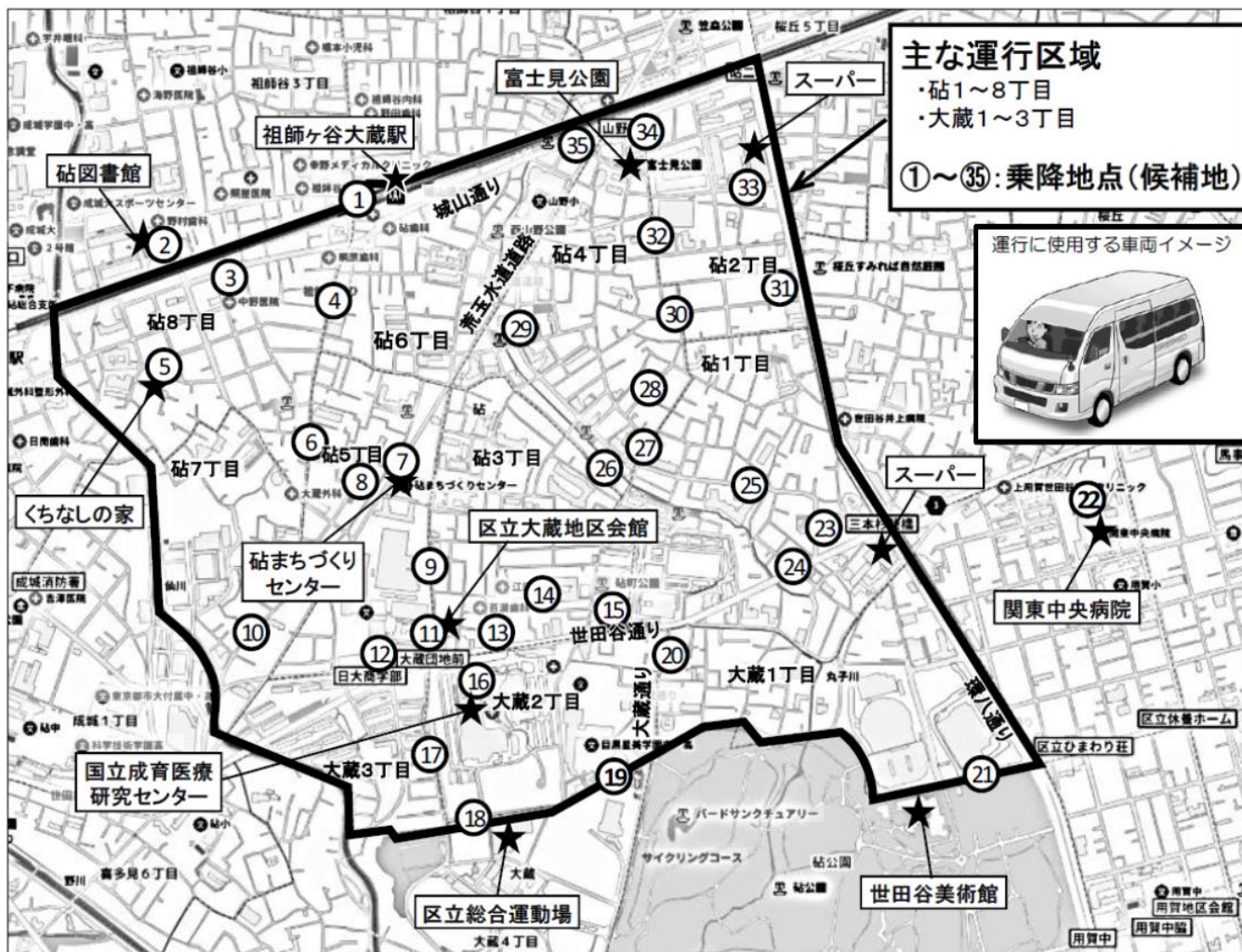
■子どもの送迎に活用したい。また、子どもの運賃なども検討をして欲しい。

## 【第2部】デマンド型交通運行計画（想定）を報告しました

これまで検討してきた定時定路線型のバス停候補地を乗降地点に含めるなど、地域との検討内容を活かした運行計画（想定）について説明しました。

コロナ禍の影響を踏まえ、高齢者の外出促進や健康維持に繋げる視点を持ち、乗降地点（候補地）を設定しており、デマンド型の需要予測アンケートに掲載するものになります。

### 【デマンド型交通運行計画（想定）】



運行車両	砧地区は狭い道路が多いため、ワゴン車※(10人乗り程度) 1台を活用
運行日時	週3日を想定 午前8時30分～午後5時台
運賃	1回300円(路線バスとタクシーの初乗り運賃の中間程度を想定) ※シルバーパスは利用できません
乗降地点	現時点の運行計画(想定)であり、運行する曜日の設定や、運行区域外の②等の乗降地点に設定できるか等は、今後のアンケートの結果等を分析のうえ決定します。また、乗降地点に関しても地域の方や関係機関との協議により、変更になることがあります。

※ワゴン車両(14人乗り程度)の活用にあたっては、交通管理者と協議・調整中であり確約を得られておりません。そのため、デマンド型交通の需要予測アンケートにおいては、これまでの協議・調整を踏まえ、上図の「ワゴン車(10人乗り程度)」とお示し、地域の皆様の利用意向を伺ってまいります。

## ○第2部での主なご質問と回答

- Q：目的地に行くまでに何人も乗せていては、到着時間が大幅に遅れてしまうのではないかと心配しています。
- A：既に予約している人の到着時間が大幅に遅れないように、システム上で予約受付を調整できると聞いている。大幅に遅れることはないと認識している。
- Q：路線バスの運行形態変更に向けて、バス事業者が喜多見・宇奈根地区で実施したデマンド型の検証運行に対する反応を教えてください。
- A：車内に設置したアンケートによると、「意外と簡単に予約できた」など前向きな回答が多かったと聞いている。高齢者を含め、電話予約ではなく予約サイトからの予約が圧倒的に多かったようだ。
- Q：運行（案）のバス停候補地付近に一般車両が違法駐車しているのを見かける。事故につながらないようにしてほしい。
- A：交通安全対策については、交通管理者としっかり協議していく。

## ○ご意見

- 砧まちづくりセンターを乗降地点に設定してもらえるとありがたい。

## 【よくある質問】

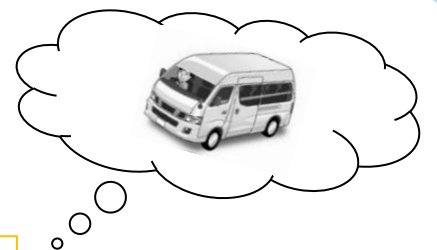
- Q：シルバーパスは使用できますか？
- A：東京都シルバーパス制度は、「一般社団法人東京バス協会」が実施主体となっており、路線バスへの適用は、東京都バス協会に加盟しているバス事業者が運行する路線だけに限定されています。また、行政が補助（赤字補填等）を行っているコミュニティ交通は対象外となります。なお、砧地区で運行予定のコミュニティ交通は、現段階では運行事業者等は未定です。

## ○今後の進め方

デマンド型交通の需要予測アンケート実施

集計・分析

定時定路線型と比較検討を行い、実証運行形態を決定



令和5年度の実証運行を目指します

皆様の貴重なご意見ありがとうございました。次回もぜひ勉強会にご参加ください。

## 【お問い合わせ先】

世田谷区道路・交通計画部交通政策課  
〒158-0094 世田谷区玉川1-20-1 (A棟3階)  
電話：03-6432-7946 ファクシミリ：03-6432-7991



世田谷区ホームページ>住まい・街づくり・環境>交通>交通に関する計画・方針等>公共交通不便地域対策について